

N	O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
107		芸術	音楽Ⅰ	2	必修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材		
1	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	なし	ON！1（音楽之友社）		
目 標					
音楽の幅広い活動を通して、音楽の見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。					
知識及び技能		思考力、表現力、判断力		学びに向かう力、人間性	
表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。		創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。		鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	
単元・作品名		学 習 内 容		到 達 度 目 標	
前 期	歌唱 ～身近な音楽～ ～原語唱に挑戦～	・校歌 ・翼をください ・花は咲く ・少年時代 ・この道 ・A Whole New World ・Caro mio ben ・Heidenröselein ・ギター		・声を合わせて歌うことの楽しさを味わうことができる。 ・歌詞の内容を理解し、表現を工夫して歌うことができる。 ・曲種に応じた歌い方を工夫することができる。 ・英語、イタリア語、ドイツ語に触れ、原語での歌唱の良さを味わうことができる。	
	器楽 楽典	・音符・休符の長さ ・音楽用語		・ギターの基本的な奏法を理解し、奏法を意識して演奏することができる。 ・音符・休符の長さや基本的な音楽用語や意味を理解することができる。	
後 期	西洋の音楽	・ベートーヴェン 交響曲第9番「合唱付き」より 「An die Freude」		・西洋音楽に親しむと共に作曲家や作品の時代背景について 関心を持つことができる。 ・歌詞の意味や曲想について理解し、表現を工夫して歌うことができる。	
	日本の伝統音楽	・こきりこ ・谷茶前		・各地域の民謡への理解を深め、それにふさわしい歌い方や 間の取り方、楽器の演奏を工夫することができる。	
	ミュージカルの世界	・「レ・ミゼラブル」		・ミュージカルの特徴を理解し、さまざまな分野の芸術に理解を深める。 ・物語の情景や歌詞の内容にふさわしい歌唱表現を工夫することができる。	
	器楽アンサンブル	・ハンドベル		・様々な楽器の特性を理解し、表現を工夫することができる。 ・各パートの響きを感じ取りながら、合わせて演奏することができる。	
取得可能な検定や資格					